

世界の水産業に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 世界の漁業生産量は減少傾向にあるが、養殖業生産量は年々増加している。日本でも遠洋漁業の衰退に伴い養殖業が発達し、現在は養殖業生産量が漁業生産量を上回っている。
2. 大陸棚やバンク、暖流と寒流が接する潮境は、魚類の餌となるプランクトンが多く、好漁場となる。太平洋北西部や大西洋北東部は、このような漁場として早くから開発されてきた海域である。
3. 太平洋南東部は漁獲量が最も多い海域で、アンチョビー漁が盛んである。この海域に面するペルーとチリは現在、国別の漁業生産量で世界1位、2位を競っている。
4. 世界の水産物貿易は、数量・金額ともに減少傾向にある。中国では漁業生産量が減少しているため、水産物輸入が増えており、中国の輸入金額は、近年日本を抜いて国別で第1位となっている。
5. 水産資源の管理は国際的な課題となっている。マグロの漁獲規制は行われていないが、捕鯨は厳しく規制されており、商業捕鯨モラトリアムの下で「先住民生存捕鯨」も禁止されている。

ある水槽を満たすのに、ポンプAだけではちょうど4時間、ポンプBだけではちょうど6時間かかる。この水槽にA、B二つのポンプを使って同時に水を注ぎ始めたが、ちょうど2時間後にBが故障して動かなくなったため、その後はAだけで満水になるまで水を注いだ。Bが故障してから水槽が満水になるまでにどれくらいかかったか。

1. 30分
2. 35分
3. 40分
4. 45分
5. 50分

正答 3
------

硝酸カリウムは、水100 gに20℃で32 g 溶ける。20℃の硝酸カリウム飽和水溶液300 gを加熱して水を蒸発させ、再び20℃に冷却したところ、硝酸カリウムの結晶が析出していた。このとき、結晶及び飽和水溶液が225 gであったとすると、析出した結晶は何gか。

なお、硝酸カリウム飽和水溶液とは、限度まで硝酸カリウムを溶かした水溶液をいう。

1. 12 g
2. 16 g
3. 20 g
4. 24 g
5. 28 g

正答 4
------